

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

| | | |
|---|-------|--|
| 会 議 の 名 称 | | 令和2年度第2回川島町男女共同参画推進委員会 |
| 開 催 日 時 | | 令和2年11月16日（月） 午後1時30分から3時40分まで |
| 開 催 場 所 | | 川島町役場 大会議室 |
| 議 題 | | (1) 男女共同参画に関する住民意識・実態調査の結果について (2) 第2次川島町男女共同参画推進計画の案について (3) その他 |
| 公開・非公開の別 | | 公開 |
| 非 公 開 の 理 由 (非公開の場合のみ) | | |
| 出席者 | 委 員 | 1号委員 五十嵐美希、小高絵都子、猪鼻彩子 2号委員 遠山いづみ 3号委員 伊藤千夏、榎本早苗 4号委員 大野清子、関根由希江、加藤法子 |
| | 事務局職員 | 総務課 鈴木克久、道祖土彰彦、三角和徳、北尾真梨子 |
| 配 布 資 料 | | ・ 令和2年度第2回川島町男女共同参画推進委員会 次第 ・ 川島町男女共同参画に関する意識・実態調査報告書 ・ 第2次川島町男女共同参画推進計画（案）（概要版） |
| <p>審議会等の内容・概要</p> <p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 大野委員長</p> <p>3 議 事</p> <p>議事に入る前に、会議の公開について、個人情報を含む内容の審議ではないことから公開とし、会議録は発言者の発言内容ごとの要点記録とすることに決定した。また、会議録指名委員は、委員長の指名により、猪鼻委員及び遠山委員に決定した。</p> <p>(1) 協議事項</p> <p>・ 男女共同参画に関する住民意識・実態調査の結果について</p> <p>事務局から、川島町男女共同参画に関する住民意識・実態調査報告書により、調査</p> | | |

結果の概要について説明した。

委員：2 ページに「男性の方が「平等になっている」の回答が高く」とあるが、男性の回答がそこまで高くはないので、「女性の方が「平等になっている」の回答が低く」とした方がいいのではないか。

委員：4 ページの性別役割分担意識について、高齢者の方が比較的こうした意識が高いと思われるので、年代別で集計するとそれが見えるのではないか。

委員：12 ページの介護休業について、男性が取得しにくいようだが、介護をしている男性は理解や支援が不十分であるため、大変だと思う。また、シングルマザーに対する支援はあるが、シングルファザーに対する支援は少ない。「男女平等」よりも、一人ひとりの「人間平等」という考えが必要ではないか。

委員：13 ページの結婚、出産後も働くために重要なことは、男女の意識の差があることが分かり、現実的な状況が表れていると思う。

委員：17 ページの学校教育について、川島町の小中学校では、混合名簿は進めていく考えはあるのか？

事務局：教育委員会に確認する必要があるが、特にそのような話は聞いていない。

委員：経験上、混合名簿の学校の方が、同じように子どもが育っていくので、いじめが少ない印象がある。ぜひ検討してほしい。

委員：川越市は、混合名簿を採用している。その場合、健康診断は男女別にする必要があったり、読めない名前も多く、教員としては大変な面もある。また、呼び方はさん付けで統一している。

委員：名簿等について、男性が先であることについて、男性はどう感じているか。

事務局：昔はそれが当たり前であったので、特に意識はしていなかった。最近では、LGBTの観点から、子どもたちのためには混合名簿もいいことだと思う。

委員：21 ページの暴力に対する意識について、ケガをした場合でもケースバイケースで暴力にあたらないと考える人がいることに驚いた。

委員：29 ページの加害行為に至ったきっかけについては、男女で傾向があるのではないかと思うので、男女別で集計した表が見てみたい。

委員：「相手がそうされても仕方がないことをした」という回答について、受け取り方でかなり違ってくるし、いろいろなことが考えられる。

委員：自由記述欄については、何かの機会に広報等に掲載して周知してほしい。

・第2次川島町男女共同参画推進計画について

事務局から、第2次川島町男女共同参画推進計画（案）により、計画案の概要について説明した。

委員：7ページからのDVに対する意識の状況について、暴力でないと認識している人がいるので、すべて暴力に該当することを記載してほしい。正しい答えを記載することで、少しずつ周知していく必要がある。

委員：8ページの後に、DV被害経験の有無等の調査結果を追加してほしい。今回の調査結果の割合から、川島町の何人に1人の割合で被害が出ているというような記載をすると、暴力が身近にあることが感じられると思う。

委員：10ページの管理職にある女性の割合の目標について、17.5%としているが、20%でもいいのではないか。

事務局：女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画を策定した際の管理職の人数と女性職員の人数を元に目標値を設定したため、このような数値になっている。ご意見のとおり、20%を前向きな目標として掲げることも大事なので、調整していきたい。

委員：審議会等委員における女性の割合が上昇しないのはなぜか。

事務局：審議会の委員については、団体に依頼して推薦してもらうこともある。依頼先が同じだと、以前と同様に推薦いただくことが多い。総務課からのアナウンスが不十分でもあるので、年度当初等に周知していきたい。

委員：「平手でぶつ」が暴力と認識する人が87.3%というのは、低くて驚いた。相手が被害を受ければ暴力だと思うが、そう考えていない人が思っているより多いということ。この意識を100%にするために何をするかが大切だと思う。

委員：DV相談窓口を知っている人の割合が低いので、PRしてほしい。役場のトイレに相談窓口のカードを設置したこともあったと思うが、農協の農産物直売所や公民館等にも設置するといいのではないか。

委員：12ページの学校教育について、児童生徒に対してだけでなく、保護者に対しても周知してほしい。また、生涯学習については、年齢や性別など幅広く周知する方法を検討してほしい。

委員：16ページは「女性に対する暴力～」とあるが、男性の被害もあるので、女性に限定しなくてもいいのではないかな。

委員：母親が子育てというイメージは、女性自身も持っていると思う。ただ、男性でも得意な人はいると思う。男性が稼ぐのが当たり前という意識を改めていく必要があると思う。

委員：意識調査において、言葉の認知度を確認しているが、認知度が上がるように説明等を記載するといいのではないかな。

・その他

〈今後のスケジュールについて〉

事務局：今後、計画の策定を進め、12月に計画案を委員に送付するので、ご意見をいただきたい。同じタイミングで、庁内各課にも計画の確認を依頼する。その後、1月に町民コメントを実施する。最終的な計画案を2月上旬に送付するので、またご意見をいただきたい。意見を取りまとめて、最終的な調整については、委員長に相談させていただき調整したいと考えているが、よろしいかな。



委員：特に意見なし。

事務局：では、了承いただいたということで、最終案については、大野委員長と調整させていただき、決定していく。

〈次回の会議日程について〉

次回の会議日程：令和3年2月15日（月）午後1時30分から

4 閉 会 加藤副委員長

| | | |
|-----|---------|---|
| 署 名 | 猪 鼻 彩 子 |  |
| | 遠 山 いづみ |  |